

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
花うさぎkids		令和7年12月18日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	5	・1階、2階それぞれが上手く機能しているが利用者の成長に伴い、狭さを感じる。個別・専門専用の部屋があるとよいが現段階では一人用の机で対応している。	・利用者の特性により、活動中に衝突、トラブルがおこってしまう現状があるが、職員がうまくかわることで、トラブルが防げるような活動を行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	8	・個別対応を要する利用者が増えた為、常に足りていない状況にある。応援者を配置して欲しい。 ・体調不良等で急な欠勤がある際や土曜日、職員が不足していると感じる。	・1対1での対応が必要な利用者の増加により、職員配置の見直しが必要な場面がある。職員数を増やして対応していく計画である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6	・構造上、難しい面があるが、階段に手すりはついている。 ・1階と2階で利用目的を分けている。	・エレベーターがなく、構造上の問題で改善が難しい面は、職員の見守りなどによりカバーする。 ・手すりや階段の隙間に防護ネットを張り安全を確保する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・毎日清掃、消毒を行っている。 ・活動による場所の確保に努めている。	・空調や換気の設備の充実を図る。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	6	・パーティションで仕切る等の工夫をしている。 ・個別の部屋の確保は難しいが、必要な場合は事務室でクールダウンが図れるように対応している。	・個室を確保することが難しく、必要に応じて事務室の一空間を使用しているが、パーティションでの対応は、もう少し遮断性の強いものも検討する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	・研修の場を設け、共通認識のもと、改善に努めている。また、グループラインで情報を共有し、他事業所との連携も図っている。	・目標設定や振り返りは日々きちんとできており、職員間での情報共有のあり方については今後もよりよい方法を考えていく。 ・ミーティングによる振り返りの設定は、現在のところ常勤職員が中心となって実施しており、非常勤職員も含めた開催を検討しているが、出勤時間などにより困難な状況にある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・毎年アンケートを実施している。新たな意見や要望は、正しく受け止め、業務を改善していく。 ・送迎時にご意見を伺うようにしている。	・アンケート調査時期以外の要望や意見は、メールや送迎時などでの面談で伺うようにしているが、それ以外で保護者から伝えやすい方法がないかなど検討する。 ・保護者の方々のご意見も取り入れ改善点はミーティングなどで情報共有し、今後も見直しを継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・毎日、ミーティングを行い、業務改善につなげている。ミーティングの内容は、グループラインに流し、情報を共有している。	・全員参加でのミーティングを行ったり、改善箱を設置したりして、業務改善に繋げていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・必要に応じて外部評価を導入していく。	・これから検討し、必要があれば外部評価を導入する。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月法人内で研修を実施している。また、webでの研修に参加したり、呉市の協議会等にも参加したりしている。 ・年間計画に基づいて実施している。 	・療育の質向上に関する内部研修も今後はさらに行っていく必要がある。幅広く多く職員が参加できるよう工夫し、個々の資質を高めるために今後も、月2回程度の研修を実施していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・支援プログラムを保護者に配布し、事業所玄関にも掲示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・アセスメントシートを配布し、それに基づき支援計画を作成している。	・個別面談の機会を増やし、より保護者や本人のニーズや課題が反映できるような療育をこころがける。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	支援計画の更新月に、ミーティングをし、成果と課題を出し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画や、課題をファイルに綴じ、何時でも見れるようにしている。 ・個別課題や、集団療育を実施している。 	・ファイルを確認したかどうか、日々、内容を確認して、療育を開始する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	・co-miiを使い、利用者の日々の様子を記録している。職員は機能を共有しており、閲覧出来るようになっている。また、必要に応じて個人ファイルに記録を綴じている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿って、具体的な課題を設定している。 ・保護者や学校と連携を取っている。 ・地域のイベントへの参加も行っている。 	・地域イベントの情報を集め、時期を逃さないよう早めに計画を立てる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の活動計画を話し合っていて決めている。 ・多様な意見を取り入れている。 	・今後も、子ども達や保護者様の要望等も取り入れる。活動内容ごとに、どのような意見を保護者がもっているかを、アンケートなどで探って、本人にその活動プログラムがあっているかどうかを常にモニタリングして療育にあたることができるような体制を構築する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・活動が固定化しないよう、幅広く情報を収集している。地域のイベントと参加や、郊外学習も組み入れている。	・より充実した活動ができる様に活動内容を定期的に検討する。活動内容を伝えることができるよう工夫する。どのような活動の希望があるかを定期的にアンケートをとり、できるだけ要望に応えることができるよう努める。新型コロナウイルスも5類になり、郊外学習などの幅広い活動を再開していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・5療育の内容に基づき、個別活動の時間と集団療育の時間を設け、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・毎日ミーティングを行い、活動内容を確認し、情報共有をしている。	・非常勤職員も交えて細かい打ち合わせが出来るよう連携を図る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・共通ラインで気づきや保護者の希望などを挙げ、確認できるようにしている。また、記録に残し、ファイルに綴じ共有出来るようにしている。	・気づいた内容の共有はその日にできているが、その対応内容が適切であったか、どのような対応を今後すべきかなど検討課題については、緊急性がない限り、翌日のミーティングでの議題としているので、当日中に打ち合わせができる環境を整えていくことを検討する。非常勤職員には個別に確認を取り支援に反映させる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日々の記録をco-miiに入力し、保護者に伝えと共に、療育日誌として記録している。保護者からのコメントは、事業所のスマホで全職員が閲覧出来る。	・その内容をしっかり職員間で共有し、改善すべきところは迅速に対応できるような体制を目指す。

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・モニタリング月に、支援計画だけでなく、アセスメントシートも見直し、職員間で意識統一している。	・引き続き、正確なモニタリングが行えるよう、様々な情報の収集に努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0	・土曜日や祝日の活動の中で、基本活動を組み合わせさせて支援している。	・地域交流の機会の提供が、不十分であると考えているので、今後充足させていく方針である。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	・集団での活動を躊躇する場合、選択肢を用意し、選択出来るようにしている。	・活動への参加は本人の意思を尊重しているが、少しずつでも参加出来るよう支援していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・他の職員からも情報を集めたうえで、利用者の状況をよく知っている者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・関係機関と連携をとり、情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・毎月通所希望表に下校時刻をご記入いただき、保護者と事業所で保管し、前日の予約確認のメールを配信している。・送迎時やトラブル発生時の対応は、都度保護者に伝え、連携を取っている。又、お迎えの際等に、学校と情報を共有している。	・利用希望表や学校行事表の提出が困難な利用者が数名いるので、その他の方法を検討し、スムーズにトラブルなく対応できるよう検討する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5	・検査結果や診断結果を頂いている。	・新年度の新規利用者がいれば、情報共有と相互理解が出来るよう相談支援専門員や保護者などに相談したうえで、協力を求めるなど行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	・該当者なし。	・今後、該当する利用者がいれば、事業所での支援内容を支援会議の場で情報提供をし、対応する事は可能である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	・モニタリング等で児童発達支援センターとの連携を図っている。	・スーパーバイズの助言をや研修を受ける場を今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・土曜日や祝日に地域のイベントに参加したり、公園で遊んだりする際に地域のこどもと活動出来る場を設けるようにしている。	・定期的に交流の機会を設けるように検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	・自発管が参加し、必要な情報を他の職員と共有している。	・協議会終了後内容を共通ラインに流し、より確実な情報共有を図る。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時に利用者の状況などを保護者に伝えている。又、co-miiで当日の様子を写真とコメントで伝えている。返信を頂いた時は、情報を職員間で共有している。	・こどもの発達の状況や課題について、どのように共通理解を深めていけばよいかわかり保護者と相談しながらすすめていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		・保護者の意向を聞きながら、今後検討していく。
保護者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に必要な情報や利用負担額などについて説明をしている。	・引き続き、丁寧に分かり易い説明を心掛ける。説明中に内容が十分理解できているか、納得いただいているか確認しながら説明を行い、不明な点があれば後日でも対応しやすい環境を作る。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・アセスメントシートやヒヤリングシートをともにサービスを提供している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	・保護者に見ていただき、加筆・修正の有無を確認した上で、サインを頂いている。	・時間の都合などで支援内容の説明が十分でない保護者もいるので、対応方法を保護者と相談しながら検討していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・送迎時や電話、メール等で対応している。面談の希望がある場合は、日時を決めて面談を行い、助言や支援をしている。	・勉強会や研修の機会を増やし、どの職員も適切な助言ができるようスキルアップを図る必要がある。外部研修などに積極的に多くの職員が参加できる環境づくりを図る。引き続き、その都度、保護者に寄り添った適切な助言ができるように努める。

者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7		・保護者にアンケート調査を行ったり、職員間で検討し、必要性があれば今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・苦情対応については、契約時に重要事項説明書で説明を行い、事業所内に掲示している。又、苦情があった際は迅速に対応し、ご理解を頂いている。	・同様の苦情が発生しないよう、情報共有し、改善策を話し合い徹底していく。職員間でその内容について、どのような対応がよかったのか、今後はどうすべきかをミーティングなどで検討し、改善に努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・花うさぎ通信で毎月の活動計画や行事予定をお知らせしている。また、co-miiの連絡帳機能で随時活動内容を発信している。	・個人情報の観点から活動写真をHPに掲載する事が難しいが、活字だけでも活動報告を掲載することを検討する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・契約時に写真掲載については同意を頂いている。また、個人情報のファイル等は、施錠できる保管庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・メールや電話、送り時に話をする等で対応している。また、利用者には、視覚支援や筆談等で対応している。	・コミー等のソフトを取り入れ、活用していく検討をする。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		・今後検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルは作成している。 ・必要な研修や、有事の際を想定した訓練を実施している。	・火災や自然災害の訓練を実施していることは、通信などで保護者に伝えているが、マニュアルに関しては周知が不十分であるので、周知方法を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCPを策定し、訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・服薬については、契約時や連絡ノートで確認を取っており、事業所内での服薬の際は、保護者と連携を取りながら行っている。 ・てんかん発作については、保護者と連携をとる体制を整えている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・ヒヤリングシート作成の際に、保護者に聴き取りをしているが現在該当者なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・安全計画に基づき必要な研修や訓練を行っている。	・今後も、安全管理に必要な研修や訓練を年間計画の中に設定し、安全管理が十分された中で支援を行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・花うさぎ通信の中に、安全計画に基づく行事予定を記し、取り組み内容については、コミーの連絡帳で配信している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・月に1回のミーティングで、ヒヤリハットの報告を行っている。また、共通ラインに流し、報告書を回覧し、再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・研修会を実施している。また、職員同士が日々の行動や言動を確かめながら、虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・身体拘束に関する研修を実施している。 ・契約時に説明を行い、個別支援計画にも記載している。	・該当する場合を想定して、全ての利用者の個別支援計画書に記載して、説明し、了解を得る。